



子どもたちが商店街を練り歩く ハロウィンイベントが開催

富岡公民館主催の「ハロウィンスタンプラリーイベント」が10月23日に富岡商店街で開催され、地域の小学生以下の子どもたち約100人が参加しました。この催しは、富岡公民館が同商店街や地域おこし協力隊など地域の方々と協力し、まちおこしにつなげようと企画したものです。魔女や人気キャラクターなどに仮装した子どもたちは、商店街内の10店舗を巡り、スタンプとお菓子をもらっていました。かわいい仮装パレードに商店街には笑顔があふれていました。

後生に伝えたい文化 「こんぴら三本足狸問答」を披露

11月5日に金刀比羅神社（福井町）で行われた秋季例大祭で、子ども神楽「博学狸こんぴら三本足狸問答」が披露されました。神楽は、400年もの間、地域で語り継がれてきたいたずら狸の物語。戦後途絶えていた神楽を、後生に伝えていきたいと15年前に地元団体「博学狸こんぴら三本足狸保存会」の皆さんにより復活したものです。3人の子どもは、この日のために練習した神楽を見事に演じました。



JAXA と連携 宇宙教育授業を開催

宇宙航空研究開発機構（JAXA）と連携した宇宙教育授業が、11月9日に吉井小学校で行われました。講師にJAXA宇宙教育推進室の室町 篤さんを迎え、5、6年生33人が国際宇宙ステーションとロケットについて学びました。児童たちは、宇宙飛行士にとって重要なコミュニケーション能力を鍛えるテストや膨らました傘袋に重りや羽をつけたロケット作りを体験。片山未菜さん（吉井小学校6年）は、「ロケット作りが楽しかったです。先端に重心がかかるように工夫しながら作りました」と話していました。



あなん図書館まつり 絵本と歌を楽しむ

「あなん図書館まつり」の一環として、かぼちゃの馬車音楽隊による「えほんの世界ファミリーコンサート」が10月21日に情報文化センターで開催され、約500人の親子連れなどでにぎわいました。コンサートでは、バイオリン・クラリネット・ピアノの音色にのせて、歌や絵本の朗読が披露されました。来場者は一緒に歌ったり手足を動かしたりと、夢中になって楽しんでいました。なお、本事業は今年で9年目を迎え、子どもから大人まで幅広い世代が楽しめるイベントとして好評を博しています。



市ホームページからご覧いただけます。
<http://www.city.anan.tokushima.jp/>

News Oasis

“憩いの場” 岩脇香風台公園に あずまやが整備される

岩脇香風台公園（羽ノ浦町）に休憩所となるあずまやが整備されました。同公園は、高台に位置し眺望が雄大で、周辺には季節折々の花が植樹されていて、ウォーキングのコースとしても人気があります。あずまやは木製で、7.3㎡。総事業費は、約244万円。11月2日に行われた完成式では、同公園でボランティア活動を行う団体「岩脇公園を美しく志隊」の皆さんなど50人が参加。くす玉割りが行われたほか、岩脇こどもセンターの園児21人による合唱が披露されました。



漂着クジラの骨 発掘し、標本へ

平成28年1月、中林町の海岸に漂着し、その後死んでしまったマッコウクジラ。骨格標本にするために同海岸に埋めていましたが、11月13日に骨の発掘作業が行われました。国立科学博物館研究員など約20人が重機などを使い頭部の骨や肋骨など100点を発掘しました。クジラは体長10.64mで、比較的若い雄と推定されています。骨は標本化され、研究用の標本として同館で保管されます。発掘作業を行った同館動物研究部脊椎動物研究グループ研究主幹の田島木綿子さんは、「クジラの成長過程など生態の解明に生かしていきたいです」と話していました。



消防職員や機材と触れ合う あなん消防フェアを開催

秋季全国火災予防運動にあわせて、消防活動に広く関心を持ってもらおうと、「あなん消防フェア2017」が11月5日に阿南市消防本部（辰己町）で開催されました。消火体験やはしご車の搭乗体験のほか、消防車両の展示や消防庁舎の見学などが行われました。たくさんの親子連れなどでにぎわい、普段触れる機会の少ない消防職員や機材を楽しみながら体験していました。

いつまでも元気で過ごすために 認知症予防講演会を開催

「あなん健康まつり第2部」として、「運動による認知症予防」と題した講演会が10月29日に市民会館で開催されました。講師で徳島県理学療法士会会長の鷲 春夫さんが、認知症予防に効果的な運動について実演を交えながら話されました。認知症予防には脳の前頭前野を鍛えることが重要で、運動と認知課題を同時に行う“ながら運動”が有効であるとのことでした。また、講演後には徳島県理学療法士劇団による劇「認知症Aさん物語」も上演されました。

